

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2025年10月27日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社 渡辺組
所 在 地	〒890-0045 鹿児島県鹿児島市武2丁目4番1号
代表者役職・氏名	代表取締役 渡辺 丈
担当者連絡先	電話：099-286-0800（担当：営業部 寺脇） メール：h-terawaki@k-watanabegumi.co.jp
ウェブサイトURL	https://k-watanabegumi.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和26年に創業した総合建設業者であり、起重機船を2隻所有し鹿児島県の港湾を中心とした海上土木工事の請負事業を実施している。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
□環境 ✓社会 ✓経済	年次有給休暇取得促進及び時間外労働時間削減によるワークライフバランスの充実。	年平均有給休暇取得日数 【現状】：有給休暇 11日 【目標】：有給休暇 15日
✓環境 □社会 ✓経済	エアコン使用基準の設定及び節電による電気使用量の削減。	電気使用量の削減 【現状】：(本社) 63,225kw (本店) 50,157kw 【目標】：(本社) 60,000kw (本店) 48,000kw
□環境 ✓社会 ✓経済	県内新卒採用を積極的に行い、地域雇用の促進・維持を図る。	毎年、県内新卒者を3人以上採用する。

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	差別やハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記しており、安全部顧問を相談窓口としている。また、研修においてもハラスメント防止のテーマも取り入れて実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ぐるみん認定を取得し、仕事と子育ての両立支援に取り組んでいる。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	過度な労働を防止するため、労働時間の管理・勤務状況の管理を行っている。								8.5 8.8										
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	社内にて労務環境面のパトロールチームを作り「安全な環境づくり」に向けた取り組みを実施している。			3					8										
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	メンタルヘルスに関する研修会を実施するとともにメンタルヘルスに関するアンケートを実施し、その後のサポートも実施している。			3															
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	定年延長によるシニアの活躍推進や外国人・障害者雇用による多様な人材確保に取り組んでいる。				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	社員の人間力や技術力向上を高めるため、多様な社内研修（社員全体研修、部門別・階層別研修会や勉強会）を定期的に行うとともに、資格取得支援にも取り組んでいる。			4	5.5			8	9										
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3									
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	健康優良法人認定企業として、社員の健康管理のため、人間ドックや予防接種の補助など各種助成制度の拡充や健康目標制度に基づく健康づくり活動を推進している。			3				8											
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	建設廃棄物、事業所廃棄物の発生抑制・削減、ペーパーレス化や再生紙利用、メール、ライン活用等によりゴミ排出量の削減に取り組んでいる。											11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	事業所別に電気使用量の月別チェックを行うとともに、エアコン設定温度・こまめな消灯・節電の管理を実施している。						7.3					13							
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている							7.2 7.3					12.4	13.3						

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる					3.9			6.3					11.6	12.4		
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	みんなの港センターを通じた自主的な清掃活動やボランティア活動へ積極的に参加し周辺環境へ配慮している。						6.6								15	
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6									
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	ISO14001を取得し、環境管理事業所認定に基づく環境管理に取り組んでいる。			3.9			6	7					12	13.3	14	15
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6			
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	太陽光発電による再生可能なエネルギー事業の推進に取り組んでいる。(シンコーエネルギー(株))						7.2						13			
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	ドローン、BIM・ICT技術を積極的に導入し、活用している。		3.9										12.4			
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	ISO9001を認証取得・継続する取り組みを実施している。また、社内にて品質証明員を定め品質確保及び向上に向け取り組んでいる。								9							
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	環境配慮型起重機船を2隻造船し、全船環境配慮型起重機船を使用して工事に取り組んでいる。					6							12	13	14	15
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる									9		11	12	13			
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	建設業の魅力やモノづくりへの興味・関心をもってもらうためのインターンシップ学生の受け入れや、近隣住民、子どもを対象とした現場見学会等を実施している。			4					9		11	12		14	15	17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	母子・父子家庭などの社会的弱者へ寄付を行うなど、行政等を通じた支援を実施している。子どもの食を支えるため、子ども食堂への食材支援。災害時に船舶を使用した支援協定の締結			4							11			14	15	17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	鹿児島県産の原材料を優先的に利用し、地産地消を推進している。						8	9		11	12	13				

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織体制	【内部管理体制】 ・ SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	ホームページにてSDGs宣言したことを掲示し、社内全体で共有している。また全社員へのピンバッジの配布・名刺への記載を行い、社内にて意識付けを行っている。									8	9							17
	【法令遵守】 ・ 反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	コンプライアンスに関する規定を社内規則に制定し、全社員に浸透を図っている。																	16
	【組織体制】 ・ 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																		16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）																		16 17
	【リスクマネジメント】 ・ 法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																		16
	【社会的責任】 ・ CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																		16
	【事業継続】 ・ 事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している											9		11		13.1			16
	【事業承継】 ・ 事業承継に関する検討・対策を行っている	d									8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・ 各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・ 今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・ なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・ 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・ 取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・ 「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したもので、個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。